

CCII いみず

射水商工会議所報

2015

1
MONTH

謹賀新年

本年も宜しくお願い致します



CONTENTS

■ 年頭所感 ▶ 2p

射水商工会議所
会頭 牧田 和樹

日本商工会議所
会頭 三村 明夫

射水商工会議所青年部
会長 加藤 文統

射水商工会議所女性会
会長 木谷 泰子

年男・年女

主な今後の動き～イベント情報～

■ 青年部だより ▶ 4p

会員家族クリスマスパーティー

■ 先月の事業 Pickup ▶ 6p

射水・千曲両経済界による
BJリーグ観戦交流

射水市きらりカンパニー選考委員会
うるおい環境とやま賞

■ インフォメーション ▶ 6p

金融関係

主な公的金融制度の利率

高岡法人会からのお知らせ

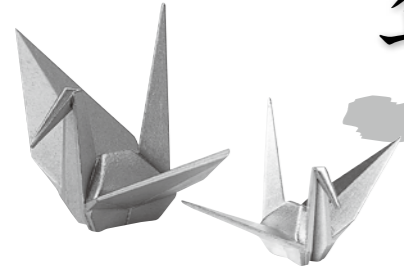
第139回簿記検定 受験者募集

■ キラリしんみなど ▶ 8p

(株)丸栄製作所

代表取締役 今牧 繁氏

2015年の新春を迎えて 年頭のご挨拶



射水商工会議所
会頭 牧田 和樹



平成27年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

昨年、年頭所感での予想が的中し、消費増税は景気後退を招きアベノミクスにブレーキをかけてしまいました。射水商工会議所ではそのような状況において、部会活動により射水市への提言・要望を取りまとめ発信し、地域事業所の代弁者としての役割を果たしているところです。また、新湊近未来構想も行政とともにいくつかのプロジェクトを具体化し、残りも今後具体化できるよう取り組んでいます。

地域は少子高齢化による人口減少と相俟って元気を失っています。自らの手で切り開いていかなければならない創造の時代を迎えている今、地域経済の活性化を成し遂げることは大命題です。商工会議所の父と呼ばれた渋沢栄一翁は「論語と算盤」の中で、明治維新の混迷期に事業を発展させるため、商売（経済）人自身の志が重要であり、その根本におのれ（自身）を修める教を説いている「論語」を据えるべきだと述べています。まさに今の

経済混迷期においてその示唆は色褪せることがありません。そうであれば、自身の志を今一度問い直すためにも、地域経済を担う我々が真摯に「論語」を学んでみることは、相応の価値を得ることができるのではないかと考えます。

本年立ち上げようとしている「いみず塾」において、出過ぎたことかもしれませんが経済のみならず行政、議会、教育などに関わる方々に「論語」を学ぶ機会を広く提供できれば、時間はかかるかもしれませんが大義ある志を持った人材が輩出され、その成果は確実に地域へ還元されることになるのではないのでしょうか。

射水商工会議所はこれからも、考え、行動する組織として発信力を高めていきたいと考えています。本年も会員各位には何卒倍旧のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。あわせて今後益々のご隆盛をご祈念申し上げます。

大変僣越ではありますが、年頭にあたり所感を述べていただきました。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

順不同・敬称略

中瀬 孝喜	穴田 茂	谷内 泰治	團田 稔	石黒 浩之	鏡嘉之	大代 武夫	分家 一嘉	鷲北 昭雄	三箇 建洋	木谷 一拓	牧田 義人	西谷 義太郎	八嶋 祐晃	石灰 修一	中曾 清志	中野 文夫	中川 秀木	柴原 敏昭	金野 之彦	磯井 和夫	川井 秀昭	松谷 純久	黒谷 幸和	高道 弘和	野村 勝己	石黒 尚万	尾田 敬一	森岡 敬一	林田 敬一	鷲尾 秀樹	米田 秀夫	加治 秀夫	伊藤 光雄	牧田 和樹
専務理事																																		
米本 進	大塚 肇	越後 正人	片岡 泰人	鶴川 孝	木村 龍彦	片口 敏彦	越後 嘉一	朴木 志朗	吉田 之信	鳥本 正信	松田 治男	小松 与志郎	水越 正之	吉久 幸磨	笹谷 幸子	酒井 和彦	小杉 一彦	北山 茂剛	中瀬 芳喜	棚辺 良彦	野村 外幸	川口 修一	京谷 隆行	荒木 義行	釣谷 弘格	和田 弘一	二口 定弘	加治 寛昭	明野 賢政	野村 輝一	明田 美嗣	麻田 清夫	松本 寿夫	

事務局職員一同

平成27年 年頭所感

日本商工会議所
会頭 三村 明夫



明けましておめでとうございます。

平成27年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

日本商工会議所の会頭に就任して、2回目の新年を迎えました。就任以来、被災地も含めた各地の商工会議所、女性会、青年部、会員各企業等、多くの関係者と意見を交換し、数多くの課題について議論を重ねてきました。

人口減などにより存立の危機に直面している地域や、円安がコストアップに直結して苦しむ中小企業を目の当たりにしました。同時に、明確な将来ビジョンを描き活力を生み出している地域や、イノベーションに果敢に挑戦し成功している中小企業にも接することができ、強い感銘を受けました。いずれの場面においても、商工会議所が地域の大きな期待に応えるべく、積極果敢にリーダーシップを発揮しており、その任務の大切さを実感いたしました。

わが国経済は、多くの経済指標が改善を示すなど、全体としては明らかに回復の道をたどっており、20年続いたデフレを脱却しつつあります。私は、アベノミクスの本質は需要創造政策だったと思います。大規模な金融緩和、財政支出、民間活動の活性化により、需要が増加し、需給ギャップは大きく改善されました。

マインド転換局面にある今こそ、資本蓄積、労働力、トータル生産性の3要素を向上させ、中長期的な経済成長を確かなものにしなければなりません。やるべき課題は既に明らかですので、本年は、官民ともに覚悟をもって、その解決に向けて実行・断行するときです。

政府には、安定政権でなければ実行できない痛みを伴う政策を断行し、日本の明るい未来への確かな道筋を示して欲しいと思います。社会保障給付の重点化・効率化は待たなしであり、成長戦略は論ずる段階は過ぎ、実行あるのみです。一層の規制改革によるイノベーションの喚起、国際的な立地競争力の強化、低廉で安定したエネルギーの確保、人口減少の歯止めと地方創生などの山積する諸課題に対する適切な政策が、間断なく実行されることを期待します。

我々民間企業は、デフレマインドからの転換をチャンスと捉え、リスクをとりながら事業展開し、事業収益を次の設備投資や賃金増に結び付けなければなりません。経済の好循環

環を実現する原動力として、これまでの貯蓄主体から本来の投資主体に転換し、積極的に行動することが求められているのです。

地方創生は大変困難な課題です。何しろ30年に亘る少子化、20年に及ぶデフレが地方の疲弊をもたらしたわけで、簡単に解決できるものではありません。地方には、観光、農林水産業、地方大学など、まだ十分に活用しきれていない資源があります。こうした資源を如何にうまく地域の活性化に結び付けていくか、そしてそれを如何に若者の働く場につなげていくかが創生の鍵です。まさに、商工会議所が重点的に取り組んでいる「地域の再生」と直結する課題であります。

全国約1,800の市区町村には1,800の処方箋があるはずで、地方創生は、その地方が自ら知恵を絞り、解決策を生み出す、すなわち当該地方の主体性、創意と熱意なくして成しえません。それゆえに、中立的な立場で多くの関係者をまとめる強みを持つ商工会議所への期待は非常に大きくなっています。地方創生においても、各会議所が強いリーダーシップを発揮していただきたいと思います。

また、震災復興の加速化に向けては、全国514商工会議所の絆をもとに実施している「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」や「販路回復・拡大」などの活動を精力的に継続しなければなりません。一日も早い本格復興に向けて、現地が必要としている施策を丁寧に取りまとめ、政府などへ提言してまいります。

我々商工会議所が、自治体の首長や地域住民などあらゆる関係者とともに危機感を共有化した上で、知恵を絞り、実行する力を発揮すれば、現下の危機は乗り越えられるはずで、514商工会議所のネットワーク力など自らの強みに改めて自信を持ち、中小・小規模企業の活力強化や地域再生に積極果敢に邁進すれば、地域から日本の底力を上げる大きな原動力となります。

本年は戦後70年という節目の年でもあります。日本の新たな再出発に向けて、大いなる気概と自信と明るさを持ち、「実行あるのみ」を合言葉に、前に向かって動き出しましょう。皆さまの一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

新年のご挨拶

射水商工会議所青年部
会長 加藤 文統



新年あけましておめでとうございます。
旧年中は青年部活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。
3月14日の北陸新幹線開業を控え、平成26年度は「ホスピタリティマインド（おもてなしの精神）」をテーマに掲げ、「おもてなしの心」を学ぶため東京ディズニーランドで勤務されておられた香取貴信氏をお招きし、おもてなしの講師例会を行い、そこで学んだことを実践するため、いろいろなイベントに参加し青年部ならではの「おもてなし」を地域の方々に感じていただきました。
また、クリスマス例会では普段は照れくさく、面と向

かって感謝の言葉も言えない家族へ心からの“おもてなし”を行い大変喜ばれました。
このようにして、青年部活動で学んだこと・感じたことの一つ一つが、今後、県内外から射水市に来られる観光客の皆様への「ホスピタリティマインド」になればよいと思っております。
結びになりますが、会員事業所の皆様方にはこれからも変わらぬご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げますと共に、青年部会員の皆様のご繁栄とご健康を祈願しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

新春を迎えて

射水商工会議所女性会
会長 木谷 泰子



新年明けましておめでとうございます。
皆様には、お元気で新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
また、平素は当女性会の運営に対し、ご指導ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。
さて、当女性会では毎年全国商工会議所女性会連合会主催の全国大会に参加しております。昨年は10月に神戸において開催され、富山県連の皆様と出席してきました。この神戸大会において、自らの強みを再認識し、おもいやりの心で『女性が生き活きと活躍し、楽しく子育てができる地域の実現』を目指し活動する決意を表明する『神戸アピール』が取りまとめられました。こ

のアピールで打ち出された『女性の活躍推進』『楽しい結婚・子育ての意識の醸成』『地域活性』を柱とし、『行動する女性会』として積極的に活動していくことになりました。
私達当女性会も、これまで以上に連携を密にし3本の柱の実現に向け、積極的に諸活動を展開したいと年頭にあたり気持ちを引き締めています。今年も地域の発展と良き伝統・文化を愛し、明るく心豊かに暮らせる街になるように努力していきたく存じます。
結びに、皆様のご商売の繁栄と健康で幸せな一年でありますようお願い申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

年男 年女

今年、年男を迎えられる本所議員の方々に、『座右の銘』を掲げていただきました。本年が明るい未来の始まりの年となるよう祈念いたします。尚、並び順は生年月日に合わせております。ご了承願います。



新湊信用金庫 理事長 磯野 之彦
『和顔愛語』

人と接する場合には、穏やかな笑顔と、相手に対し思いやりをこめて話すという仏教用語。かつては当たり前だと思っていたが、最近大切さを身にしみて感じるようになった。
『人を動かす』などの著書で知られる米国作家のデール・カーネギーは、笑顔には1ドルの元手もいらぬが、1千万ドルの価値を生み出す力があると語った。
東京五輪招致の最終プレゼンテーションでも、満面の笑顔が周囲に伝わり、言葉に力を持たせたのだと思う。
新湊で育ち、地元の地域金融機関で働く。常に『和顔愛語』を心掛けていきたい。



金原開発㈱ 代表取締役会長 金原 敏昭
『いつも前向き80%、反省20%』

新年明けましておめでとうございます。本年の干支は羊で私は6回目の年男です。当社は日頃から「いつも前向き80%、反省20%」そして「いつまでも人様にごめいわくをかけない企業でありたい」をモットーとし、今年で創業50周年を迎えます。これまで多数の知人、友人、社員にめぐり合い事業を続けられた事に皆様に感謝いたします。3月14日には新幹線も開業します。新幹線のように真っ直ぐに進み平和で豊かな社会になるよう祈念いたします。



野村屋餅店 代表 野村 良範
『命に過ぎたる定なし』

今年、年男の私ですが自分はまだまだ若いと思っていましたが、早いもので還暦を迎えます。しかし今の60才は若いです。まだまだこれからです。私の座右の銘は「命に過ぎたる定なし」。私は、市消防団長をさせてもらっています。市民の生命や財産を火災や災害から守り安全で安心して暮らせるために射水市消防団27分団、団員757名をまとめています。これからも命、体を大事にして市民の皆様への安心安全のために努力精進して頑張ります。



米田木材㈱ 代表取締役 米田 秀樹
『歩歩是道場』

「歩歩とは、いまこのこと」日常の一挙手一投足、そのすべてが自己を鍛える道場であるという意味。
今年、私自身そして会社もまた創業から60年、共に還暦を迎える年となりました。
先人が築いてきたものを受け継ぎ、それを時代の要請に合わせて活用・展開し続け、次の時代に継げることを我使命とし、歩歩を道場として生きてゆきたい。

主な今後の動き イベント情報

- <会議所> 主な今後の動き
- 1/6(火) 市内6団体新春懇談会
- 1/14(水) 本所青年部理事会

- <会議所> 主な今後の動き
- 1/15(木) 正副会頭会議
新年経済懇談会
- 1/22(木) 小規模事業者経営改善資金審査会
- 1/28(水) 本所青年部委員長連絡会議

12.13 会員家族クリスマスパーティー

青年部だより

第一イン新湊にて恒例のクリスマス会員家族親睦例会を行いました。この事業は日ごろ青年部活動を理解し、お世話になっている家族へ感謝の気持ちを込めて青年部が毎年開催しています。当日は青年部会員家族約90名が参加し、子供抽選会、アトラクション等で盛り上がり、一足早いクリスマスを楽しみました。



12/7 ~ 12/8

射水・千曲両経済界による BJリーグ観戦交流

本所は、交流観光事業の一環として、長野県千曲市へ訪問しBJリーグ観戦交流事業を実施しました。

同事業は、両県にあるプロバスケットボールチーム (BJリーグ) の試合観戦 (富山グラウジーズVS信州ブレイブウォリアーズ) を契機に、姉妹都市としての儀礼的な友好親善にとどまらず、自由な発想のもと、人的交流、文化交流、技術・経済交流に結びつけ、更なる両地域の振興と活性化を図ることを目的として開催しており、今年が3回目となります。

今年度は千曲商工会議所が主管となり、両商工会議所・両商工会・両観光協会関係者約30人が参加。観戦交流のほか交流懇親会も開催され、「海の幸」「山の幸」交流のお話や経済・観光交流のお話が出るなど、今後の両地域の更なる交流と活性化を誓い合いました。



12/22

射水市きらりカンパニー 選考委員会

本所と射水市商工会で組織する射水市商工協議会が毎年実施している同顕彰事業の選考委員会が、本所において開催され、大賞に株式会社シマダ蠟燭、今年度より創設されたルーキー賞に株式会社日吉プランナーが決定しました。

株式会社シマダ蠟燭は中国に生産拠点を設け、和ろうそくを中心に木製品や陶磁器などの葬祭用品を幅広く生産することで、下請けからの脱却は図り、大手スーパーやホームセンターなど更なる販路拡

大に積極的に取り組んでおり、現在ミャンマーへの進出準備も進めています。ニッチ市場を開拓する戦略性が評価されました。

株式会社日吉プランナーは、しめ縄や雪つり縄のわら製品の製造のほか富山湾のホタルイカ漁にわらの漁網を供給。自然素材のわらの誘導網は、シーズン毎に漁期を終えると海に沈めるとホタルイカが卵を産むなど魚の漁礁としても効果があります。近年の農機の発達により、わらが不足していることから、農業との連携やわらに替わる紙の縄を開発するなど環境に対応したユニークな商品とその取組みが評価されました。

なお、来年2月5日(木)午後4時より開催される射水産学官金交流会において表彰式を行います。



祝

うるおい環境とやま賞 受賞

uchikawa 六角堂
米田木材株式会社

富山県が景観づくりの取組を幅広く表彰する『うるおい環境とやま賞』のうち、現代的な要素や独創性など、新たな息吹を感じさせる景観づくりを評価する『風の賞』にuchikawa 六角堂、花や緑を効果的に活用した景観づくりを評価する『緑の賞』に米田木材株式会社が選ばれました。

六角堂は築70年以上の古民家を再生し、空き家を新たなにぎわいの場所に作り変え、地域の良さを認識するきっかけとなったことや、まちづくり活動に積極的に取り組んでいるところが評価され、米田木材株式会社は、建物はインパクトのあるデザインでありながら、陸前高田市で被災した松材を使用している点や、近隣の人々とのつながりを大切に、また限られた空間の中で効果的に植栽が施されるなど、地域の景観を牽引しているところが評価されました。

『うるおい環境とやま賞』にはこの他、土の賞、水の賞 (今回は該当なし) があります。

金融関係

主な公的融資制度の利率

(平成27年1月1日現在)

資金名	利率(年)	
日本政策金融公庫 (国民生活事業)	マル経融資	1.35%
	普通貸付	1.30~2.70%
富山県	小口事業資金	2.00%以内
射水市	中小企業振興資金	2.00%以内

日本政策金融公庫 定例相談会

【相談会場】 射水商工会議所1階相談室

アドバイザー等	開催日時
高岡支店国民生活事業 ■ 小口の事業資金融資 ■ 創業支援・地域活性化支援 ■ 国の教育ローン、恩給・共済年金等を担保とする融資	1月20日(火) 13:00~15:00
富山支店中小企業事業 ■ 中小企業への長期事業資金の融資 ■ 国の中小企業政策に基づいた支援	1月22日(木) 13:00~15:00

◎ご利用の方は、事前に本所 (TEL.84-5110) までご予約をお願いします。

新春時局講演会

日時 平成27年1月22日(木) 14:00~15:30

場所 ホテルニューオータニ高岡
4F鳳凰西中の間

第一講座 講師 政治ジャーナリスト
末延 吉正氏

演題 2015政局展望
「アベノミクスと解散政局のゆくえ」

入場料 無料 (事前に電話にて申込みをお願いします)

公益社団法人 高岡法人会

申込・問合せ先 TEL.23-8855 FAX.26-1216

第139回 簿記検定

試験日は2/22(日)です

- ◇実施日◇ 平成27年2月22日(日)
- ◇受験会場◇ ・射水商工会議所
・富山情報ビジネス専門学校
※どちらかお選びいただけます

◇申込受付期間◇
平成27年1月6日(火)~1月22日(木)

◇施行級◇ 2~4級

◇受験料◇
2級 4,630円 / 3級 2,570円 / 4級 1,640円

◇申込方法◇
・各地商工会議所(本所含む)窓口にて
申込用紙にご記入の上、お申込ください。
・1月6日より本所ホームページから
インターネット申込みを受付けています。

HP 射水商工会議所 簿記検定

◇お問合せ◇
TEL:(0766)84-5110 担当:見崎

2015年 会議所の動き

2015年の会議所の主な行事予定です。以下の計画は変更の可能性があります。随時、当所からのお知らせを御確認いただくか、お気軽にお問合せください。

1/15(木)	新年経済懇談会
2/5(木)	射水産学官金交流会
3/19(木)	日本商工会議所会員総会
3/25(水)	常議員会・議員総会
6/24(水)	常議員会・議員総会
8/23(日)	会員大会
9/17(木)	議員懇談会

今回は(株)丸栄製作所 代表取締役 今牧 繁 氏にお話を伺ってきました。同社は建設機械の中・大型ショベル用バケット製造のほか、FRP事業にも参画。大量生産や、きめ細やかなオーダーメイドにも対応し、厚板板金製造業の分野において、中・大型用バケット製造の全国トップシェアを占めます。今後は海外でもシェアを伸ばしたいとのこと。先を見据える今牧氏に、成長し続ける秘訣をお伺いしました。

人は『生涯学習』

代表取締役
今牧 繁 さん

社員の成長を促す仕組みを教えてください

まず、当社の一年間は毎年、期初に年間計画を立て、それに沿って各部ごとに個別目標を策定、毎月の目標・行動計画を練り、更にそれを見て社員が毎月行動計画を考える。また、毎月、結果報告や見直しを行います。年度替りには年間を通して見直し、また新たな年間計画を立てるという方式になっています。計画や報告は社内に掲示して『見える化』を進めています。また、会社の経営状態も社員全員に『見える化』しており、各人が、自ら課題を見つけたり、解決の道を探ったりしやすくなっています。

これは、人は『生涯学習』するものであるという私の考えにも関わっています。人はいくつになっても、常に目標を探し、成長し続けるものです。その意欲は出来る限り支援していきたいですね。

会社見学を受け付けているとお伺いしました

同じ『見える化』でも、工場は『魅(み)える化』を目指しています。

産業観光について、事前お申し込みにて、社員の案内による工場見学受け入れております。外部の方々に見ていただくことで社員が整理・整頓をより一層心がけるようになり、5S活動を推進する当社にとっても、いい機会になると捉えています。また、実際に見てもらうことにより、工場や製作所に対する既存イメージを払拭し、より多くの若い人たちに当社への入社を志望してもらいたいという狙いもあります。

今後の目標についてお聞かせください

現在、国内の超大型のバケットを作る会社は多くはありません。これだけ大きなバケットは国内では需要が殆どないからです。当社も新興国のインフラ整備や鉱山業での資源採掘の現場での需要を見込んでいます。今後は海外にどんどん進出し、“丸栄ブランド”を確立させたいですね。



(株)丸栄製作所

代表者：代表取締役 今牧 繁

所在地：射水市鷺塚50

TEL：0766-55-5800

FAX：0766-55-5200

創業：昭和31年5月

事業内容：生産用機械器具製造業



インタビューを終えて

「社員の満足度第一を目指している」とおっしゃる今牧氏。社員一人ひとりの成長、自立を促し、全員で同じ目標に向かうことが会社にとって大きなプラスに働くとのこと。大所帯であっても、社員全員で会社を作っているという強い意識が感じられました。

掲載企業募集しています。射水商工会議所 TEL.84-5110 (見崎まで)